

# 平成 17 年三重県沿岸海域に 発生した赤潮

平成 18 年 3 月

三重県科学技術振興センター

水 産 研 究 部

平成17年三重県沿岸海域に発生した赤潮 正誤表

ページ	修正箇所	誤	正
p1	下から2行目	<i>Mesodinium rubrum</i> 赤潮	<i>M.rubrum</i> 赤潮
p4	表5, 整理番号2の「最高細胞数」の欄	C.s	C.s.
p4	表5, 整理番号2の「最高細胞数」の欄	E.z	E.z.
p5	表5, 整理番号9の「最高細胞数」の欄	S.c	S.c.
p6	表5, 整理番号16の「発生海域」の欄	志摩度会(五ヶ所湾)	志摩度会(英虞湾)
p6	表5, 整理番号17の「最高細胞数」の欄	S.c	S.c.
p7	表5, 整理番号26の「整理番号」の欄	26(S-13)	26(I-13)
p8	表5, 整理番号32の「赤潮構成種名」の欄	<i>Thalassiosira</i> sp.	<i>Thalassiosira</i> sp.
p8	表5, 整理番号32の「発生状況および到達状況」の欄	<i>Thalassiosira</i> sp.	<i>Thalassiosira</i> sp.
p8	表5, 整理番号35の「赤潮構成種名」の欄	<i>Skeletonema Costatum</i>	<i>Skeletonema costatum</i>
p9	表5, 整理番号39の「整理番号」の欄	39(I-17)	39(S-17)
p18	図 熊野灘北部海域(1)の「K-5」の位置を示すバー	「K-5」から「紀伊長島」を指すバー	「K-5」から「錦」を指すバー

## 平成 17 年三重県沿岸海域に発生した赤潮の概要

### [伊勢湾海域]

赤潮発生件数は 17 件で平年を上回った。赤潮発生日数は 84 日、赤潮発生延べ日数は 88 日で平年を下回った。継続日数別の発生件数は、5 日以内が 12 件、6～10 日が 3 件、11～30 日が 1 件、31 日以上が 1 件で短期発生が主体であった。赤潮構成種別の発生件数は、珪藻赤潮（複合含む）が 7 件、*Noctiluca scintillans* 赤潮が 5 件と多かった。その他は、*Gymnodinium* sp.(Midorishio)赤潮が 2 件、*Alexandrium affine* 赤潮、*Scrippsiella trochoidea* 赤潮及び種不明赤潮が 1 件であった。*Chaetoceros sociale* 及び *Eucampia zodiacus* の複合赤潮により、知多半島沿岸（愛知県）においてクロノリの色落ち被害が発生した。

### [志摩度会海域]

赤潮発生件数は 19 件で平年を上回った。赤潮発生日数は 75 日、赤潮発生延べ日数は 81 日で平年を下回った。継続日数別の発生件数は、5 日以内が 14 件、6～10 日が 2 件、11～30 日が 3 件であった。赤潮構成種別の発生件数は、*Heterocapsa circularisquama* 赤潮が 4 件と多く、次いで *N.scintillans* 赤潮、*Heterosigma akashiwo* 赤潮、*Cochlodinium polykrikoides*(複合含む)赤潮及び *Mesodinium rubrum* 赤潮が 2 件、その他はすべて 1 件で、*Gymnodinium pulchellum* 赤潮、*Skeletnema costatum* 赤潮、*S.trochoidea* 赤潮、*Karenia* sp.赤潮、*Gymnodinium* sp.(Midorishio)赤潮、*Euglena* sp.赤潮、Prymnesiales、*Calyptrosphaera* sp.と *C. polykrikoides* を主体とした複合赤潮であった。*Karenia* sp.赤潮により、蓄養のメバル、ベラ、アワビ、及びサザエや天然のハゼ、ギンボがへい死する被害が発生した。今年の特記事項としては、的矢湾において、初めて *H. circularisquama* 赤潮が発生したことがあげられる。

### [熊野灘北部海域]

赤潮発生件数は 7 件で平年を上回った。赤潮発生日数は 8 日、赤潮発生延べ日数は 8 日で平年を大きく下回った。継続日数別の発生件数は、5 日以内が 7 件で短期発生が主体であった。赤潮構成種別の発生件数は、*Prorocentrum dentatum* 赤潮及び *Mesodinium rubrum* 赤潮が 2 件、その他はすべて 1 件で *Ceratium furca* 赤潮、*Gymnodinium* sp.赤潮、*H.akashiwo* 赤潮であった。赤潮による漁業被害は発生しなかった。

1. 赤潮継続日数別赤潮発生件数・漁業被害を伴った件数

継続日数	伊 勢 湾		志 摩 度 会		熊 野 灘 北 部		県 全 体	
	発生件数	漁業被害を伴った件数	発生件数	漁業被害を伴った件数	発生件数	漁業被害を伴った件数	発生件数	漁業被害を伴った件数
5日以内	12	0	14	0	7	0	33	0
6日～10日	3	0	2	0	0	0	5	0
11日～30日	1	0	3	1	0	0	4	1
31日以上	1	1	0	0	0	0	1	1
合 計	17	1	19	1	7	0	43	2

2. 年別赤潮発生件数

年	伊 勢 湾	志 摩 度 会	熊 野 灘 北 部	県 全 体
平成 8	14	12	5	31
9	14	11	4	29
10	17	3	9	29
11	10	11	5	26
12	8	17	5	30
13	11	6	8	25
14	10	16	6	32
15	16	8	4	28
16	17	18	8	43
17	17	19	7	43
平 均	13.4	12.1	6.1	31.6

### 3. 年別赤潮発生日数

年	伊勢湾	志摩度会	熊野灘北部	県全体
平成 8	167	161	80	237
9	128	149	76	216
10	110	40	36	131
11	51	139	70	169
12	70	101	59	159
13	27	34	55	92
14	109	117	63	170
15	53	71	24	114
16	67	87	28	130
17	84	75	8	140
平均	86.6	97.4	49.9	155.8

### 4. 年別赤潮発生延べ日数

年	伊勢湾	志摩度会	熊野灘北部	県全体
平成 8	210	196	81	487
9	134	191	87	412
10	139	40	37	216
11	55	173	91	319
12	71	216	85	372
13	35	42	56	133
14	114	132	64	310
15	55	76	24	155
16	70	128	28	226
17	88	81	8	177
平均	97.1	127.5	56.1	280.7

#### 【注】

- 「1. 赤潮継続日数別赤潮発生件数・漁業被害を伴った件数」の「漁業被害を伴った件数」では、1件の赤潮発生で2件以上の漁業被害が発生した場合も1件とカウントした。
- 「1. 赤潮継続日数別赤潮発生・漁業被害を伴った件数」の発生件数、「2. 年別赤潮発生件数」の発生件数の計数方法については、「5. 三重県における赤潮被害発生状況」の【注】2、【注】3を参照のこと。
- 「3. 年別赤潮発生日数」では、同一海域（伊勢湾、志摩度会、熊野灘北部の各海域）内で同一日に複数件の発生がみられた場合、当該日を1日とカウントし、「4. 年別赤潮発生延べ日数」では当該件数でカウント（重複カウント）した。「県全体」の場合も同じ取扱いをした。

5. 三重県における赤潮発生状況（平成17年1月1日～12月31日）

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
1 (K-1)	1.6	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Mesodinium rubrum</i>	1.6 に尾鷲湾の引本浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は矢口0m層と2m層の1,900cells/mlであった。 水色：赤紫色	不明	0-5	M.r. 1,900	無	尾鷲水産研究室
2 (I-1)	2.15- 3.22	伊勢湾 (南東部)	<i>Chaetoceros sociale</i> <i>Eucampia zodiacus</i>	2.15 南知多町豊浜地先において <i>Eucampia zodiacus</i> による赤潮が確認された。その後 <i>Chaetoceros sociale</i> も構成種となり、野間地先まで範囲を拡大し、3.22まで継続した。この赤潮により篠島や師崎など南部を中心にノリ養殖に色落ち被害をもたらした。	>20	0	C.s 40,390 E.z 7,290	有①	知多農林水産事務所 知多のり研究会
3 (I-2)	3.2	伊勢湾 (北西部～西部)	<i>Skeletonema costatum</i>	3.2 に伊勢湾の北西部から西部（鈴鹿市沖）において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、楠町0m層における9,600cells/mlであった。2.23頃から密度が増加し、3.2に赤潮が確認されたが、3.9には終息していた。	不明	0	S.c. 9,600	無	三重県漁連 鈴鹿水産研究室
4 (S-1)	3.7	志摩度会 (奈屋浦)	<i>Euglena</i> sp.	3.7に奈屋浦（カサラギ池）において <i>Euglena</i> sp.による赤潮が確認された。最高細胞数はカサラギ池の0m層の5,900 cells/mlであった。	不明	0	E.sp. 5,900	無	くまの灘漁協 南島町 水産研究部
5 (S-2)	4.18- 4.19	志摩度会 (浜島町地先)	<i>Noctiluca scintillans</i>	4.18 に浜島町塩鹿浜において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m層における108cells/mlであった。	不明	0	N.s. 108	無	水産研究部
6 (S-3)	4.19	志摩度会 (鳥羽市)	<i>Noctiluca scintillans</i> (推定)	4.19 に鳥羽市沿岸（答志島北部）において <i>Noctiluca scintillans</i> (推定)による赤潮が確認された。 水色：橙色	不明	0	不明	無	南勢志摩県 民局水産室
7 (I-3)	4.29	伊勢湾 (北西部～西部)	<i>Noctiluca scintillans</i> (推定)	4.29 に四日市市から鈴鹿市沖および雲出川河口付近で <i>Noctiluca scintillans</i> (推定)による赤潮が確認された。	>0.5	不明	不明	無	第四管区海 上保安部

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
				水色：淡い朱色					
8 (K-2)	5.16- 5.17	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Prorocentrum dentatum</i>	5.16 に海山町矢口浦において <i>Prorocentrum dentatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞 数は、5.17 の 2m 層における 39,500cells/ml であった。	不明	0-5	P.d. 39,500	無	尾鷲水産研 究室 紀北県民局 水産室
9 (I-4)	5.24	伊勢湾 (北東部)	<i>Skeletonema costatum</i>	5.24 名古屋港南部から野間にかけての伊勢 湾北東部海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。 水色：(36)	173	0	S.c 70,240	無	しらなみ
10 (I-5)	6.6- 6.14	伊勢湾 (北東部)	<i>Gymnodinium</i> sp. (Midorishio)	6.6~14 まで、常滑から野間にかけての伊勢湾 北東部海域において <i>Gymnodinium</i> sp. (Midorishio) による赤潮が確認された。 水色：(42)	126	0	G.sp. 2,410	無	しらなみ 鬼崎漁協
11 (I-6)	6.7	伊勢湾 (西部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	6.7 に伊勢湾西部において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。最高細 胞数は、0m 層における 404cells/ml であつた。	不明	0	N.s. 404	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部
12 (S-4)	6.24	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	6.24 に五ヶ所湾相賀浦大池において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認 された。最高細胞数は、0m 層における 330 cells/ml であつた。	不明	0-9	H.a. 330	無	南勢町水産 種苗センタ ー
13 (I-7)	7.1	伊勢湾 (南西部)	<i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)	7.1 に伊勢湾南西部において <i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)による赤潮が確認された。最 高細胞数は、0m 層における 3,950cells/ml だ であった。	不明	0	G.sp. 3,950	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部
14 (S-5)	7.3	志摩度会 (鳥羽市)	<i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)	7.3 に鳥羽市浦村において <i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)による赤潮が確認された。最 高細胞数は、0m 層における 42,500 cells/ml であった。	不明	0	G.sp. 42,500	無	鳥羽磯部漁 協 水産研究部
15 (K-3)	7.6	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Ceratium furca</i>	7.6 に尾鷲湾奥部において <i>Ceratium furca</i> に よる赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層 における 420 cells/ml であつた。	不明	0-5	C.f. 420	無	尾鷲水産研 究室 紀北県民局 水産室

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
16 (S-6)	7.10- 7.22	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	7.10 に英虞湾の又吉前において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。7.10 に又吉前の 2m 層で 2,410 cells/ml が確認され、7.11 には波切の 2m 層で 492 cells/ml が確認された。その後、発生水域が湾中央部へ拡大した。最高細胞数は、7.10 の又吉前 2m 層における 2,410 cells/ml であった。7.22 に東市場 5m 層で 168 cells/ml が確認されて以降、赤潮は確認されなかった。	不明	0-10	H.c. 2,410	無	英虞湾内真珠養殖漁協 水産研究部
17 (I-8)	7.12- 7.20	伊勢湾 (北中部)	<i>Skeletonema costatum</i> <i>Thalassiosira</i> sp.	7.12 常滑沖の海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。その後、この赤潮は伊勢湾の北中部へと範囲を拡大し、小型の <i>Thalassiosira</i> sp. に優占種を変化させて 7.20 まで継続した。 水色：(27,45)	640	0	S.c 20,250 T.sp. 51,950	無	しらなみ ちた
18 (I-9)	7.12	伊勢湾 (南東部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	7.12 豊浜沖の伊勢湾南東部海域において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。	>13	0	不明	無	しらなみ
19 (I-10)	7.21	伊勢湾 (南東部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	7.21 内海から豊浜地先にかけて <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。	不明	0	不明	無	漁業生産研究所
20 (S-7)	7.22	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	7.22 に五ヶ所湾の相賀浦大池において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は 5m 層における 280 cells/ml であった。	不明	5	H.c. 280	無	南勢町水産 種苗センター
21 (K-4)	8.1	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Gymnodinium</i> sp.	8.1 に尾鷲湾矢口浦において <i>Gymnodinium</i> sp.による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 1,400cells/ml であった。	不明	0	G.sp. 1,400	無	紀北県民局 水産室
22 (I-11)	8.2- 8.4	伊勢湾 (中～南部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	8.2～8.4 にかけて伊勢湾の広範囲で <i>Noctiluca scintillans</i> が確認され、湾の中央部や知多半島沿岸、松阪沖で濃いパッチを形成した赤潮となって確認された。 水色：だいだい色	>67	0	N.s. 1,250	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部 しらなみ 海幸丸

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
23 (S-8)	8.8	志摩度会 (英虞湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.8 に英虞湾立神において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、9m 層における 210 cells/ml であった。	不明	5-9	H.c. 210	無	水産研究部
24 (S-9)	8.12	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.12 に五ヶ所湾迫間浦において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、5m 層における 580 cells/ml であった。	不明	5	H.c. 580	無	南勢町
25 (I-12)	8.17	伊勢湾 (中部)	<i>Skeletonema costatum</i>	8.17 伊勢湾中部海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。 水色：(36)	>216	0	S.c. 9,580	無	しらなみ
26 (S-13)	8.17	伊勢湾 (中部)	<i>Alexandrium affine</i>	8.17 伊勢湾中央部の狭い範囲において <i>Alexandrium affine</i> による赤潮が確認された。この赤潮は、同日に発生している赤潮(整理番号 25) の範囲内で周囲とは異なる水色で発生していた。 水色：(15)	13	0	A.a. 2,580	無	しらなみ
27 (K-5)	8.17	熊野灘北部 (錦)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	8.17 に大紀町錦において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 23,300 cells/ml であった。	不明	0	H.a. 23,300	無	尾鷲水産研究室
28 (S-10)	8.19- 8.24	志摩度会 (英虞湾)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	8.19 に英虞湾塩屋浦において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 18,000 cells/ml であった。8.22 には塩屋浦 0m 層において 1,059 cells/ml、8.24 には鴻の浦と塩屋浦 0m 層において最高 4,150 cells/ml が確認された。	不明	0-10	H.a. 18,000	無	水産研究部
29 (S-11)	8.22	志摩度会 (的矢湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.22 に的矢湾渡鹿野島西において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 115 cells/ml であった。	不明	0-2	H.c. 115	無	若狭大月真珠養殖株式会社
30 (S-12)	8.23	志摩度会 (的矢湾)	<i>Gymnodinium pulchellum</i>	8.23 に的矢湾中崎において <i>Gymnodinium pulchellum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 23,000 cells/ml であった。	不明	0	G.p. 23,000	無	水産研究部

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
				胞数は、0m 層における 23,000cells/ml であった。					
31 (S-13)	9.8- 10.3	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Prymnesiales</i> <i>Calyptrosphaera</i> sp. <i>Cochlodinium</i> <i>polykrikoides</i>	9.8 に五ヶ所湾礫浦において <i>Prymnesiales</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、2m 層における 1,350cells/ml であった。9.16 には優占種が <i>Calyptrosphaera</i> sp. に変わり、その後 <i>Cochlodinium polykrikoides</i> との混合赤潮を形成した。9.27 には、 <i>Calyptrosphaera</i> sp. の最高細胞数が 0m 層で 360,000 cells/ml となり、9.28 には <i>Cochlodinium polykrikoides</i> の最高細胞数が 0m 層で 4,160 cells/ml であった。その後 10.3 まで続いた。	不明	0-10	P. 1,350 C.sp. 360,000 C.p. 4,160	無	南勢町 水産研究部 くまの灘漁協 南勢志摩県 民局水産室
32 (I-14)	9.12- 9.17	伊勢湾 (北東部)	<i>Thalassiosira</i> sp. <i>Chaetoceros</i> sp. <i>Skeletonema</i> <i>costatum</i>	9.12 常滑市沖の中部国際空港周辺において <i>Thalassiosira</i> sp. などによる珪藻赤潮が確認された。その後、知多市沖や名古屋港南部でも発生が確認され、9.17 まで続いた。 水色：(33,36)	320	0	T.sp. 21,150 C.sp. 17,700 S.c. 11,950	無	しらなみ
33 (S-14)	9.21	志摩度会 (方座浦)	<i>Mesodinium</i> <i>rubrum</i>	9.21 に南島町方座浦において <i>Mesodinium rubrum</i> 赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層の 2,500cells/ml であった。	不明	0-5	M.r. 2,500	無	南島町水産 種苗センタ ー
34 (I-15)	9.24	伊勢湾 (中央部)	種不明	9.24 伊勢湾中央部において、幅約 0.5km、長さ約 3 km の範囲内で種不明の赤潮が確認された。 水色：淡い朱色	1.5	0	不明	無	第四管区海 上保安本部
35 (I-16)	10.12	伊勢湾 (北東部)	<i>Skeletonema</i> <i>Costatum</i> <i>Chaetoceros</i> sp.	10.12 名古屋港南部の知多市沿岸域において <i>Skeletonema costatum</i> などによる珪藻赤潮が確認された。 水色：(45)	25	0	S.c. 10,000 C.sp. 4,540	無	しらなみ
36 (S-15)	10.14	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Skeletonema</i> <i>costatum</i>	10.14 に五ヶ所湾礫浦から相賀浦において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層の 19,500cells/ml であった。	不明	0-10	S.c. 19,500	無	南伊勢町

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
37 (I-17)	10.20- 11.2	伊勢湾 (中部・南西部)	<i>Scrippsiella trochoidea</i>	10.20 中部国際空港沖の伊勢湾中央部において <i>Scrippsiella trochoidea</i> による赤潮が確認された。その後、松阪沖や二見浦沖でも確認され、11.2 まで継続した。最高細胞密度は、10.28 における 0m 層の 22,500cells/ml であった。 水色：(27)	>80	0	S.t. 22,550	無	鈴鹿水産研究室 水産研究部 しらなみ
38 (S-16)	10.27- 11.2	志摩度会 (的矢湾)	<i>Scrippsiella trochoidea</i>	10.27 到的矢湾渡鹿野島東(中崎)において <i>Scrippsiella trochoidea</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は 11.2 の国府宮潟浦 0m 層における 14,550 cells/ml であった。	不明	0	S.t. 14,550	無	水産研究部 志摩市 南勢志摩県 民局水産室
39 (I-17)	11.24	志摩度会 (元方座浦)	<i>Mesodinium rubrum</i>	11.24 に元方座浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0.5m 層の 860 cells/ml であった。	不明	0.5	M.r. 860	無	水産研究部 立神真珠養 殖漁協
40 (S-18)	11.29- 12.12	志摩度会 (的矢湾)	<i>Karenia</i> sp.	11.29 到的矢湾千賀港および国府宮潟浦において <i>Karenia</i> sp. による赤潮が確認された。最高細胞数は、国府宮潟浦の 1m 層における 13,000 cells/ml であった。本種は <i>Karenia longicanalis</i> に類似しているが、新種の可能性もある。 水色：(33-42)	不明	0-4.5	K.sp. 13,000	有②	水産研究部 南勢志摩県 民局水産室
41 (K-6)	11.29	熊野灘北部 (白浦)	<i>Mesodinium rubrum</i>	11.29 に紀北町の白浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0.5m 層の 940cells/ml であった。	不明	0.5	M.r. 940	無	紀北県民局 水産室
42 (S-19)	12.7	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	12.7 に五ヶ所湾の五ヶ所浦において <i>Cochlodinium polykrikoides</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層の 630cells/ml であった。	不明	0	C.p. 630	無	南伊勢町南 勢種苗セン ター
43 (K-7)	12.26	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Prorocentrum dentatum</i>	12.26 に尾鷲湾白石湖において <i>Prorocentrum dentatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、4m 層の 21,750 cells/ml であった。	不明	4	P.d. 21,750	無	水産研究部 若狭大月真 珠養殖株式 会社

【備考】

1. *H.circularisquama* は 100cells/ml 以上を赤潮として扱った。

【注】

1. 「整理番号」は、発生時期の順に一連番号を記載し、( ) 内には発生海域毎に一連番号を記載した。(I、S、K はそれぞれ伊勢湾、志摩度会、熊野灘北部の各海域を示す。)
2. 2 あるいは 3 海域にまたがって発生した場合は、各海域のそれぞれに発生したものとして扱った。従って、例えば 2 つの海域にまたがって発生した場合は、1 つの発生に対して 2 つの整理番号を与え、発生件数は 2 件とカウントした。
3. 「発生時期」は、発生が確認された日から消滅日までを記載することを基本としたが、同一海域で発生、消滅（一時的な細胞数の減少）を繰り返したものについては、最初の発生から最後の発生まで（完全な赤潮の終息まで）を 1 単位として記載した。
4. 水色表示の ( ) 内は、赤潮情報伝達事業、赤潮調査事業水色カードの番号で示した。

6. 赤潮による漁業被害状況（平成17年1月1日～12月31日）

整理番号	被害時期	被害発生場所	赤潮構成種名	養殖魚介類				漁獲物又は蓄養魚介類					天然魚介類			
				魚種	被害内容	被害尾数(尾)	被害金額(千円)	漁業種類	魚種	被害内容	被害尾数(尾)	被害金額(千円)	魚種	被害内容	被害量	
①	2.15－ 3.22	伊勢湾 (南部)	<i>Cheatoceros sociale</i> <i>Eucampia zodiacus</i>	ノリ	色落ち	不明	不明									
②	11.29	志摩度会 (的矢湾)	<i>Karenia sp.</i>						アワビ サザエ	へい死	少数	不明				
									メバル ベラ	へい死	少数	不明	ハゼ ギンポ	へい死	少数	

【注】

- 「整理番号」は、被害発生時期の順に一連番号を記載した。
- 「被害内容」は、へい死、浮上、漂着、沈下等の区別を記載した。

7. 赤潮発生海域図













